

令和8年6月第2回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 湯本 直木】

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>1. 堆肥センターの長寿命化計画の見直しは</p>	<p>私は3月定例会の令和8年度一般会計予算の採決の時に退席した。理由は新年度予算は総論として問題は無いにしても堆肥センターの長寿命化計画等の総額1億4,586万円の金額について疑問や違和感を感じたからである。そこで今回の長寿命化計画の見直しについて伺う。</p> <p>① 3月定例会で「堆肥センター」の検討委員会の設置を「今後実施する堆肥利用者アンケートの結果を踏まえたうえで、令和8年9月を目標に進める」との回答があったがアンケートは実施したのか。現在の進捗状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>② 同じく定例会で「令和10年度を目標に次の計画について村の考え方を示したい」との発言があったが、施設の方向性を決定するのにこれから2年間もかける必要があるのか。次の方向性を出すまでの間にも現施設の管理運営経費がかかってくる。現施設への投資はその場しのぎの延命治療的投資としか見えず、現在の村の財政状況をトータル的に考えると1年でも1か月でも早く次の段階へ進め、現施設への不必要と思われる投資より新しい施設への投資に切り替えて、村が推している「有機の里づくり」事業を推進するのに不可欠な施設を早急にリニューアルすることが重要と考える。</p> <p>この案件は、長年、臭いの問題がネックになっていて村民には「迷惑施設」ともとらえられていることは事実で、地元の協力が無ければ成り立たない事業であり、場所の選定や用地交渉についてはデリケートな問題だけに慎重かつ丁寧で真摯な対応が求められる。故に、目の前の問題を先送りや棚上げして無駄な時間や軽費を経年的に浪費するより、考えられる場所について厳選し地元や地主さんへ迅速に対応することに力量をかける必要があると考えるがいかがか。</p> <p>また、村内への建設ではない違う方策を考えているのか、併せて見解を伺う。</p>	<p>村 長</p>

令和8年6月第2回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 湯本 直木】

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2. 第7次総合振興計画の重点プロジェクトの実施状況は</p>	<p>令和7年3月に木島平村第7次総合振興計画を決め、その内容について特に力を入れて分野横断的に取り組む4つのテーマを重点プロジェクトとして設定し重点的に推進するように計画しているが、今回は【基本目標③】の各項目に明記されている「めざす姿」のコメントに対しての実状と、「取組」について村長の体感と評価、各項目の具体的な進捗状況について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 滞在型観光の推進 ② 商工業の振興と新しい産業の創出 ③ 地域資源を活用した特産品のブランド化 ④ 農業振興 ⑤ 森林の活用 	<p>村 長</p>
<p>3. 園児の主食持参の見直しのその後</p>	<p>昨年12月議会の一般質問で園児の主食持参の見直しについて質問をした。前任の担当課長からは「年度末までにはアンケート調査を実施する」との答弁があった。その後、担当課長に確認したところ、「アンケート調査を実施するかしないかは首長の判断による」との話を聞いているが、その後この件についてはどうなっているか。村長にアンケート調査についての意向を伺う。</p>	<p>村 長</p>